

夏の素足にさらりと快適な
もみの木の床。
味わいのある変化を楽しんでいます。

次世代の住まい
CASE 27
宮城県仙台市
Kさんの家
取材日／2012年5月



外壁にオレンジとイエローのタイルをあしらったのは、奥さまのアイデア。楽しい雰囲気伝わってきます。



グリーンやブラウン、ホワイトなどインテリアのカラーコーディネートは天然木のイメージに合わせてくつろぎの空間を演出。もみの木の一枚板で作ったテーブルは、こまめに磨いて白木の色をキープしています。

「Kさん」ご夫妻が家づくりを考えたのは、2010年の冬。「当時アパート住まいだったので、そろそろ受験生になる息子の勉強部屋が必要になると思ったんです」と奥さま。アヴィエスホームにはモザルハウスのイベントのスタンパリーののために、何気なく入ったのがきっかけ。でもその息子さんがもみの木の家を気に入ってくれたことで、じっくり話を聞くことになりました。「その時、具体的な資金繰りまで話が及び、家づくりが急に現実味を帯びました。ちょうど気に入っていた土地があった、そこに建てることに決めました」。

「ご主人が単身赴任だったので打ち合わせにはなかなかご苦労も多かったとか。一人で家づくりを進めることも多かった奥さまは、「私が車の運転ができないこともあり、スタッフの方に家に来てもらって打ち合わせしたり、主人の赴任先まで行ってもらったりしたこともありました。不安もありましたが親切にして頂いたおかげで楽しく家づくりができました」。

入居して約2年温かみのあるもみの木と、奥さまのセンスを生かしたインテリアがしっくりなじみ、居心地の良さが伝わってきました。

初来場されたのが、2010年1月で奥様とご子息2人、ご両親の5人でのご来店でした。初来場の時には一番気に入ってくれたのが実はご長男で「ここが良い」と言ってくれたんです。もみの良さが分かったんです。ご主人は茨城県に単身赴任中で、帰省していたいたり、茨城まで何度かお邪魔させていただきました。普段は奥様とお子様計4人で打ち合わせをし、着工、完成までたどり着く事ができました。ちなみに奥様は美しい方です。で、ご主人様は私が担当で安心したのではないのでしょうか！

（笑）もみの木とスピンオフの良さを理解していただき、嬉しく思います。今でも突撃訪問をして小姑の様な事をアドバイザーしています。2年を過ぎてももみの手入れも板群でいつもキレイにして頂いて担当としては嬉しい限りです。今後とも末永くお付き合い頂ければ幸いです。

担当より一言



営業
千葉



2Fは壁や床を白で統一。1Fの「木」のイメージとはがらりと雰囲気が変わります。高校生の息子さんの部屋はシックな黒でコーディネート。



もみの木の床も少しずつ美しい飴色に変化してきました。まめな水拭きを欠かさず、冬には暖房による乾燥のダメージを軽減するため霧吹きを使って手入れしていたそう。



太い梁がアクセントの2Fホール。愛用のタンスを置き、室内干しもできるようにしています。こうした遊びのようなスペースを作っておくと何かと便利。



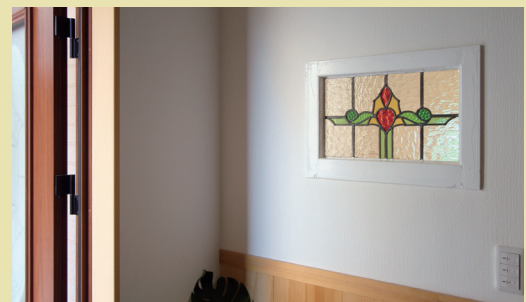
奥さまがモデルハウスで一目見て気に入ったという木目のキッチン。遠赤外線クッキングヒーターは余熱調理ができるので節約にもなります。



CASE27:宮城県仙台市 Kさんのお宅
家族構成:夫・妻 長男、次男
延べ床面積:約34坪 部屋:4LDK
こだわり設備:1Fもみの木の床 スピンオフ壁



四角形にくり抜いた意匠はさりげないインテリア。



玄関ホールとリビングの間の壁にあしらったステンドグラス。



「好きな小物を飾りたい」と作った出窓。おしゃれなグリーンは2人の息子さんから母の日のプレゼント。

